

士幌町第6期町づくり総合計画・地方創生策定及び
新拠点「道の駅」検討特別委員会中間報告書

1 設置の期間

平成27年6月24日から平成28年3月30日

2 設置の目的

士幌町第6期町づくり総合計画・地方創生「地方人口ビジョン」「地方版総合戦略」策定及び新拠点「道の駅」について検討する。

3 特別委員会委員の定数

11名（議長を除く全議員）

4 調査の経過

(1) 視察研修 平成27年7月7日～9日

視察研修先、経過及び概要 平成27年第3回定例会で報告済み

(2) 第1回特別委員会 平成27年8月5日

新拠点「道の駅」について、これまでの経過、「新・道の駅」建物配置構想案及び今後のスケジュールについて、小林町長及び産業振興課関係職員より説明を受けた。

特別委員会は、事業予算、運営方法等について質疑等を行うとともに、今後も引き続き協議・検討を進めて行くことを確認した。

(3) 第2回特別委員会 平成27年9月7日

次の内容について、小林町長、柴田副町長及び総務企画課・産業振興課両関係職員より報告及び説明を受けた。

①士幌町第6期町づくり総合計画

町の概要説明及び総合計画策定の経過報告

②地方創生策定

「士幌町人口ビジョン骨子案」「士幌町総合戦略骨子案」

③新拠点「道の駅」

道の駅設計コンセプト及び考え方及び新施設平面図により説明。

地方創生策定に当たっては、次の各骨子案の方向性に基づき取り進めて行くことを確認した。

【士幌町人口ビジョン骨子案】

2040年(平成52年)の目標人口 5,102人

【土幌町総合戦略骨子案】

策定期間：平成27年度～平成31年度（5年間）

基本目標：「地域産業の拡大による雇用の創出」

「移住・定住による人口減の緩和、交流人口の拡大」

「結婚・出産・子育て環境の充実」

「安心して暮らすことができる環境づくり」

新・道の駅では、前回の特別委員会時に出された意見及び資料をもとに説明を受けたが、管理体制及び販売方法が明確でないこと。さらには、予定されている施設面積及び構造等では維持管理費が高額になるのではとの意見が出された。理事者からは、施設は公設、販売部門を民営としてテナント募集をするとともに、建物等については検討したいとして、引き続き協議をしていくことを確認した。

(4) 第3回特別委員会 平成27年10月2日

新拠点「道の駅」について、町から受けた2回の説明内容を検証するとともに、各委員からの意見をもとに総括的な意見を集約し、報告することを確認した。

(5) 第4回特別委員会 平成27年11月12日

次の内容について、小林町長、柴田副町長及び総務企画課関係職員より報告及び説明を受けた。

①地方創生策定

「土幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」

②土幌町第6期町づくり総合計画

「基本構想(案)」 「基本計画(案)」

地方創生「土幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、2040年(平成52年)を中期的な将来人口として位置付け、4つの基本目標を踏まえた方向性で取り組んで行くことを了承した。なお、事業内容において既存の継続事業と新規事業とが明確で出ないことから表示することを求めた。

5 まとめ

町からの報告及び説明も含めこれまで4回の特別委員会を開催し、各事業計画などにおける質疑・検討を重ねてきたので、その経過及び内容等について中間報告する。

なお、地方創生策定及び新拠点「道の駅」における特別委員会としての検討は、中間報告をもって終えるが、土幌町第6期町づくり総合計画「基本構想策定(案)」については、今12月定例会に町より議案上程されることから引き続き検討を進めていくことを確認した。

(1) 土幌町第6期町づくり総合計画

総合計画策定にあたっては、平成28年度から平成37年度迄の10年間とし、総合的・計画的な町づくりを進めていく上での最上位の計画として位置づけている。また、基本構想は、議会の議決すべき事件として条例で規定されおり、今後は、基本構想(案)の内容について理解を深めるため、基本計画(案)と併せた説明を町に求めていくこととしている。

(2) 地方創生策定

国の長期ビジョン及び総合戦略を勘案し、将来めざすべき人口とそれを実現するため、「土幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略」最終案が示され、「人口ビジョン」「総合戦略」に沿った方向及び施策により取り進めていくことを了承した。推進にあたっては、「土幌町第6期町づくり総合計画」と密接な関わりがある重点施策として位置づけていることから、国・道・関係自治体との連携はもとより、町民に実施内容及び進捗状況等を発信し情報を共有していくことを望む。

【人口ビジョン】

本町が目指す2040年(平成52年)の推計 5, 102人

【総合戦略】

計画期間：平成27年度～平成31年度（5年間）

基本目標：「地域産業の活性化により、多様な雇用を創出する」

「人の流れと住環境を増やし、移住・定住を促す」

「結婚・出産・子育てへの支援を充実させる」

「安心して住み続けることができる地域をつくる」

(3) 新拠点「道の駅」

今後の運営・管理方法について、次のとおり集約することで同意された。

・運営方法は、公設民営とすること。

・管理については運営会社などを設置し、委託とすること。

基本設計及び実施設計等を進めていく上において、町は、町民懇話会、検討委員会(三団体)及び当特別委員会等との協議内容を検討し、民意を踏まえた意見反映及び事業展開をしていくことを強く望む。特に、経営方針及び管理運営等については将来を見据えて慎重に検討を進めるとともに、今後も引き続き議会への説明を求めていく。